

常陸太田市立水府小・中学校

在来工法で築き上げる，県北地域における
「最大級の木造校舎」



校舎全貌 南側から撮影



普通教室

■ 建築概要

所在地	茨城県常陸太田市町田町	施設用途	公立小・中学校
構造・階数	木造2階(一部鉄筋コンクリート)	延床面積	3,004㎡
事業費	580,990,673円	木工事費	81,270,170円
工期	平成30年12月～令和元年12月	設計者	岡田新一設計・柴建築設計事務所建築関連業務 共同企業体
施工者	りんかい日産・小池特定建設工事共同企業体	木材供給者	(株)小池住建

■ 設置者から一言

子どもたちが9年間を過ごす小中一貫校の設計にあたり、自然の移ろいを感じ、感性が豊かになる校舎を目指した。大規模木造建築を実現するために、延焼を防ぐ耐火構造（RC）の部分で木造部分を別棟にすることにより、主要構造材料を一般製材で構成する計画とした。

■ 使用した木材や工夫した点

校舎の木造部分は、南側のグラウンドに面した普通教室2室と北側のフリールームの2階建てで1ユニットを構成している。柱は120×120～240mm、梁は120×240～510mm、スギまたはスギとヒノキの集成材で構成された木造軸組工法である。

この木造ユニットを、トイレや階段などが入るRC造を挟んで並べ、耐火性能を確保した。そして構造的に一体化して木造部の水平力の一部をRC造に負担させ、木造の桁行方向の耐力壁を少なくして開放的な空間とした。

内部空間は構造材の木組みの美しさを見せるデザインとし、内装仕上材にも木材を多用して温かみのある落ち着いた学習環境を実現した。

樹種	県産材使用量	使用部	備考
スギ	346.992m ³	柱、梁、腰壁、建具枠等	構造材、下地材、造作材
ヒノキ	80.404m ³	幅木、手摺等	構造材、造作材
計	427.396m ³		



普通教室棟 廊下